

第 15 回 YGN 若手勉強会のご案内
「高速炉サイクル若手座談会～高速炉サイクルは何処へ～」

2020 年 12 月 5 日、日本原子力学会・若手連絡会（YGN）は、高速炉サイクルをテーマに若手の当事者を集めてオンライン座談会を開催致します。

2016 年 12 月、高速炉開発会議の議論を経て、原子力関係閣僚会議においてももんじゅの廃炉が決定されるとともに、『高速炉開発の方針』が定められました。2018 年 12 月には、『戦略ロードマップ』が定められ、各プレイヤーの役割等が示されたところです。現在は、戦略ロードマップに則り、“民間によるイノベーションの活用による多様な技術間競争”が実施されています。

本勉強会では、高速炉サイクル 3 部門（炉/燃料/再処理）に所属する若手に集まっていただき、もんじゅ廃炉によって何が変わったのか、戦略ロードマップや高速炉サイクル開発の現状をどのように捉えているか、高速炉サイクル開発の技術課題等、各々の考えや課題を共有・議論します。

- 記 -

【日時】 2020 年 12 月 5 日（土） 13:00-16:10

【場所】 Web 会場（Zoom：お申込時にご入力いただいたメールアドレスに、アクセス用 URL などを送らせていただきます。）

【登壇者（ご所属）】

- ①山本 智彦氏（JAEA 高速炉・新型炉研究開発部門 炉設計部）
- ②廣岡 瞬氏（JAEA 核燃料・バックエンド研究開発部門 核燃料サイクル工学研究所 プルトニウム燃料技術開発センター 燃料技術部）
- ③宮崎 康典氏（JAEA 高速炉・新型炉研究開発部門 燃料サイクル設計部）

【プログラム】 13:00 - 13:20 開会・趣旨説明（12:30 開場）
13:20 - 14:40 各所属の概要と取組みの紹介（質疑含む）
14:40 - 15:00 休憩
15:00 - 16:00 座談会
16:00 - 16:10 閉会

* 終了後、登壇者とのフリートーク（1～2 時間程度）を検討しております。

【対象】 原則として、39 歳以下の若手・学生が対象です。

【参加費】 無料

【申込】 本勉強会への参加を希望される方は、12 月 3 日（木）17 時まで以下のサイトよりお申込ください。（定員 30 名先着順）

お申込サイト <https://forms.gle/Rczje6r6SNuvtYPf7>

* Google フォームを使用しております。アクセス不可の方は下記窓口までお問い合わせをお願い致します。

【窓口】 メール：masatoshi-kameyama@japc.co.jp

（担当）日本原子力学会 若手連絡会 亀山 正敏（日本原子力発電）

【備考】

◆YGN 若手勉強会では「チャタムハウスルール※」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。

※「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

◆本勉強会へご参加いただいた皆様には、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内等）のメールマガジンを配信させていただきます。

<YGN 若手勉強会>

日常業務に捉われない自己研鑽，分野や所属を超えた繋がりのお機会創出のため、2016年10月より継続的に開催。

第1回「もんじゅを見つめ直す」（2016年10月）

第2回「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」（2017年2月）

第3回「原子力の将来とイノベーション」（2017年4月）

第4回「次世代小型モジュラー炉：シンプルで安全、そして経済的な選択肢」（2017年10月）

第5回「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」（2017年11月）

第6回「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」（2018年2月）

第7回「原子力プラント建設の技術継承」（2018年5月）

第8回「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国 70年の苦闘』」（2018年7月）

第9回「国際協力・海外進出の現状と今後」（2018年12月）

第10回「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」（2019年1月）

第11回「原子力プラント建設の技術継承②」（2019年5月）

第12回「原子力防災に携わる。－現場から研究室、そして現場へ－」（2019年9月）

第13回「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」（2019年11月）

第14回「宇宙探査における原子力利用」（2020年9月）

以上